

葬儀のあとの手続き・届け出 早わかり

●世帯主が亡くなった場合(名義変更の手続き一覧)

	手続き窓口	内 容	期 限	備 考
すべてに手続きするもの	住民票	市区町村役場	世帯主変更	14日以内 世帯主以外なら必要無し
	電気・ガス・水道	所轄の電気・ガス会社、水道局	名義変更	なるべく早く 電話で申し出る
	電話	所轄のNTT	名義変更	なるべく早く 電話で申し出る
	公団賃貸住宅	所轄の公団事務所	名義承継	なるべく早く
相続確定後にするもの	不動産	法務局	所有権移転登記	— 印鑑証明、戸籍謄本は相続人全員のもの
	預貯金	各銀行、郵便局	名義書き換え	— 戸籍謄本は相続人全員のもの、銀行によっては死亡診断書が必要な場合もある
	株式	各証券会社等	名義書き換え	—
	生命保険	保険会社	契約要項変更	— 被保険者本人が死亡したときは死亡保険金の給付の請求を
	自動車	陸運支局事務所	移転登録	— 自動車検査証なども必要

※故人名義の銀行口座は死亡直後に閉鎖されます。入金も出金もストップされます。
 病院への支払いや葬儀の費用は、ある程度の範囲内(150万円前後)では引き出しを認められることもありますが、必要と思える当座の費用は早目に引き出ししておくことが肝心です。
 ※口座から自動引き落としになっている公共料金などの支払いも、できなくなってしまうので注意が必要です。

●葬儀のあとの手続きチェックリスト

- | | |
|--|---|
| <p>①故人の免許証や保険証などの返却</p> <ul style="list-style-type: none"> 年金証書、調理師免許、自動車免許証、身分証明書、老人優待パス、パスポート、クレジットカード、自動車の移転登録やJAFの会員証などの返却。 <p>②故人の年金の停止</p> <ul style="list-style-type: none"> 国民年金、厚生年金を故人がもっていた場合は、その停止のための手続き。 <p>③故人の確定申告を相続人が行う</p> <ul style="list-style-type: none"> 所得税の確定申告「準確定申告」相続人が行う。 <p>④所得から医療費控除を差し引く</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間10万円以上の医療費を支払った場合。 | <p>⑤健康保険から埋葬料をもらう、国民健康保険から葬祭費をもらう、高額医療費の支給を受ける、生命保険を受け取る、厚生年金・国民年金を受け取る手続き</p> <p>⑥遺産の相続と相続税の申告手続き</p> <p>※このような手続きに必要な書類の内容と手数料も知っておきましょう。住民票、印鑑登録証明書、戸籍謄本、戸籍抄本、除籍謄本、除籍抄本、戸籍記載事項証明書など。</p> |
|--|---|

詳しくは

(株)JAライフクリエイト福島
HPをご覧ください。

<http://www.jalcf.jp/index.shtml>

JAライフクリエイト福島

検索



組合員・地域の皆様へ



JA葬祭 通信

地域とともに、ゆたかな暮らしのお手伝い

2012.9月発行 第3号

発行/福島県JA葬祭事業連絡協議会
 編集/JAライフクリエイト福島 生活事業部 催事課
 〒963-0725 郡山市田村町金屋字下夕川原76番1
 TEL024(942)5078
 ホームページ <http://www.jalcf.jp/index.shtml>
 お客様相談窓口
 (ご意見・質問・苦情受付) ☎024(942)5078



福島県JA葬祭事業連絡協議会
会長 中和田 吉彦

ご挨拶

昨年の東日本大震災で亡くなられた方々、被災しておられる方々に対し、改めて心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。

JA葬祭は初心に帰り、地域に認知さ

れる葬祭事業に全力で取り組むと共に、この度の大震災で被災された組合員及び地域の方々に、ご支援を続けてまいりたいと思います。

下記の行事・イベントが行われました



3月16日 No.1
東日本大震災被災者慰霊祭
主催:福島県JA葬祭事業連絡協議会
(郡山市熱海町:清稜山倶楽部にて)



3月16日 No.2
東日本大震災被災者慰霊祭
主催:福島県JA葬祭事業連絡協議会
(郡山市熱海町:清稜山倶楽部にて)



6月23日
第1回JA葬祭県下統一事前相談会
・PRのぼり
・当日は、エンディングノートをプレゼントしました



7月11日~12日
JA会津いいで総合サービス(株)
第1回まごころ斎苑友の会研修旅行に参加された皆様
(横浜市:曹洞宗大本山總持寺にて)

イベント情報

第2回JA葬祭県下統一事前相談会
当日は「事前相談」の、のぼりを目印にお越し下さい。

平成24年11月24日(土)

豆知識 お釈迦様について

●誕生

仏教の開祖釈迦は、紀元前五世紀ごろにインドで釈迦族の王子として生まれた。本名は姓をゴータマ 名をシッタールタという。釈迦という呼び名は、その出身である釈迦族からとったものである。のちに真理に目覚めてからは、仏陀(ぶつだ)・釈迦牟尼世尊(しゃかむにせそん) (釈尊(しゃくそん)) などと呼ばれる。

●生涯

- 誕生** ルンビニー園での誕生と生母の死 (四月八日 花まつり降誕会(こうたんえ))
- 出家** 二十九歳ごろに宮殿を捨てて出家 (結婚後一子をもうける)
- 苦行** それから六年間の厳しい修行(断食と坐禅の日々)
- 成道** 苦行の中止後に菩提樹の下で悟り (禅定の中で悟りを得る) 十二月八日 成道会(じょうどうえ)
- 説法** 鹿野苑という地で初めての説法 (中道・縁起・四聖諦・八正道)
- 入滅** 八十歳、クシナガラ地で (キノコまたは豚肉料理による中毒死) 二月十五日 涅槃会(ねはんえ) 頭を北、顔を西に向け横たわり入滅。

●教え

釈迦が菩提樹の下で悟り、説いた教えとは中道(ちゅうどう) 縁起(えんぎ) 四聖諦(しじょうたい) 八正道(はっしょうどう)の四つの真理から成り立っている。これらの修行を積むことによって煩悩をなくし、結果として苦を克服することができるとしているのである。

中道 何事も両極端はいけぬ。ほどほどがよい(考え、行動) (ちゅうどう)

縁起 水がこの世になかったら雨は降らない。親がいなければ子は生まれない。このように物事には必ず「因(いん)」があってそれがあつたところに必ず「果(ぐ)」も起こります。あるものに対して他の何かがある形が縁となつて働きかけをし、その結果に何かが生れ起こることを「縁起」という。生まれたものもやがて死ぬ。若者もやがて老いる。愛し合う者たちにもいつか別れが来る。これは人間の多くの苦しみを生み出す原因である。このように物事はお互いに関係しあっている。

四聖諦 苦諦(くたい) … 生まれきたわれわれの世の中の様相は「苦」であると見極めること。
集諦(じつたい) … 苦を引き起こすのは、欲望と執着を集めることと見極めること。
滅諦(めつたい) … 見極めた「苦」の原因、人の世の欲望と執着を捨て去って滅すること。
道諦(どうたい) … それを導く具体的な手段の「八正道」を日々怠りなく実践すること。

八正道 正見(しょうけん) … 正しく真実の姿を見据える
正思(しゅうし) … 正しく本当のところを考える
正語(しょうご) … 正しい言葉で正しく語る
正業(しょうごう) … 正しい行い・行為をする
正命(しょうみょう) … 正しい生活をする
正精進(しょうしん) … 身心を整え、健康に留意して、正しい努力をする
正念(しょうねん) … 正しい信念を持ち、希望に燃える
正定(しょうじょう) … 以上のことを常に正しく守るよう身心を落ち着ける

東の空を曙光が赤く染める頃、「天眼」が生じ、釈迦は真理に目覚めて「仏陀」となった。35歳のときのことである。

●家族葬・小規模葬のイメージ

●家族葬と一般葬を区別するならば、告知をするかしないかであり、会葬者を呼ばずに家族・親族だけで送るのが家族葬、会葬者が参列するのが一般葬となるでしょう。

●家族葬の定義

- 告知しない
- 遺族と親族で執り行う (親しい友人・知人が参列する場合も) 遺族の意向
- 家族の意向が強く反映される

※一般葬の小規模化したものが家族葬というわけではありません。
※家族葬は人数の多少ではなく、葬儀の告知方法や告知範囲によるものと推察されます。

●家族葬が増える傾向

家族の高齢化により簡素化したい

精神的負担の軽減・経済的負担の軽減

社会的な付き合いが無い

少子化や非婚率の上昇により親戚が少ない
地域共同体の崩壊により近所付き合いがない

●アドバイス

- 死の尊厳は故人様にあります。お別れの儀式は、家族葬・小規模葬・一般葬と規模の大小ではございません。
- 故人様をどのようにお見送りをしてあげられるか、ご遺族・ご親族様の思いが最も重要です。
- JA葬祭では、ご遺族様のご意向に添ってご相談を受け賜っておりますので、どのようなことでもお近くの葬祭担当窓口までお気軽にご相談ください。
- 形式等にとらわれない家族葬・小規模葬等は、事前に相談しておくことをお勧めいたします。

※JA葬祭としては、葬儀に於ける宗教的儀礼並びに社会的儀礼の役割や重要性及び、地域の葬送儀礼の慣習等を理解しつつ、多様化していく実態に順応すべく地域に根差した取組みを行ってまいります。

●家族葬のメリット・デメリット

(1) メリット

- ・身内中心であるため、故人や遺族の要望やこだわりに沿った葬儀ができる
- ・形式にとらわれない葬儀ができる
▶ 音楽葬、献花葬など
- ・静かに葬儀に集中できて、ゆっくりと故人とのお別れができる
- ・遺族の身体的・精神的な負担が少ない

(2) デメリット

- ・身内以外の、故人とお別れがしたい方の思いを汲み取ることができない (故人・遺族の意思とは違った葬儀になる場合もある)
- ・葬儀後に訃報を知った方々が自宅に焼香に訪れ、遺族の負担が大きくなる
- ・社会的な「死」に対するケジメがつかない
- ・少人数で葬儀を出すという事は、香典も少なく遺族の金銭的な負担が大きい
- ・残されたご家族の今後のおつきあい等、社会的な儀礼が欠如する。

平成24年度 JA葬祭事業の取組み

福島県JA葬祭グループとしての資質向上対策

JA葬祭グループでは、ご利用の皆様へ「安全・安心」の提供と、信頼していただけるために葬祭スタッフの資質向上対策として、毎年、各種講習会・研修会を開催しております。

今回は、葬祭経験の浅い職員・社員向けの葬祭業務基礎講習会を開催し、ご住職の法話とJA中央会に

よる、農業協同組合について学びました。また、精進落とし(お斎)・法事法要に欠かせない料理について、食中毒予防のための食品衛生管理について、郡山市保健所の講義を受けました。今後とも資質向上のために、JA葬祭関係者一同精進してまいります。



5月25日 No.1 JA葬祭業務基礎講習会 安洞院 横山俊邦 住職による講演 (福島市 JA教育センターにて)



5月25日 No.2 葬祭業務基礎講習会 JA中央会 高橋次長の講義風景 (福島市 JA教育センターにて)



5月31日 No.1 JA葬祭ケータリング研修会 食品衛生管理について、郡山市保健所の講義の様子 (郡山市 株式会社JA郡山市協同サービス 郡山東斎場にて)



5月31日 No.2 JA葬祭ケータリング研修会 (郡山市 株式会社JA郡山市協同サービス 郡山東斎場にて)

イベント情報

Event Information

JA葬祭通信は各斎場の行事報告や計画、催事記などをお知らせ致します。JA葬祭通信事務局では皆様からのご意見、記事を募集します。お近くの葬祭担当者にお知らせください。

県北管内

- 9月16日 ● JA共同施設(株) 人形供養祭
- 12月22~23日 ● 株式会社JA新ふくしまライフ JAホールかわたま内覧会
- 平成25年2月 ● JA伊達みらい 鎮魂祭
- 平成25年3月 ● JA新ふくしまライフ 鎮魂祭

会津管内

- 9月6日 ● JA会津みなみ JAやすらぎ友の会集い
- 10月20日 ● JA会津いいで総合サービス 人形供養並びに感謝祭
- 未定 ● JAあいづ生活(株) 人形供養祭

※日時の確定は各JA便り、チラシ等でお知らせ致します。

県中管内

- 9月16日 ● JA郡山市協同サービス 人形供養祭(大槻斎場)
- 9月16日 ● JAたむら 人形供養祭
- 10月4日 ● JAあぶくま石川 人形供養祭(あぶくま斎場玉川)
- 11月中旬 ● JAたむら 健康セミナー
- 12月 ● JAたむら 法要会館オープン

相馬管内

- 10月26日 ● JAそうま 人形供養祭

いわき管内

- 11月 ● 株式会社エイいわき市協同サービス 感謝祭・内覧会 ラポール四倉・ラポール平産